



号外
埼玉県(第1区版)
2009年3月16日発行

民主党プラス民主編集部
東京都千代田区永田町1-11-1
TEL03-3535-9988(代表)

民主党埼玉県連広報局
さいたま市浦和区高砂3-6-16
Tel 048-833-3500
Fax 048-833-3503
URL http://minshu.org
E-mail info@minshu.org

2009年・春号

民主党埼玉県第1区総支部
衆議院議員 たけまさ公一事務所
●さいたま事務所
さいたま市浦和区北浦和 3-6-11
松本ビル 2F
TEL048-832-3810 FAX048-832-3846
●岩槻事務所
さいたま市岩槻区本町 5-5-12
TEL048-749-6801 FAX048-749-6802
●国会事務所
東京都千代田区永田町 2-1-2
衆議院第2議員会館 312号室
TEL03-3508-7062 FAX03-3519-7715

「政権交代」はあくまで手段！ 目的は「日本の国のため直し」！

①【求職者支援法案】

職能訓練中に一〇万円！

医療保険も継続可能に

製造業派遣社員の雇用

契約切れによる大量失業が

懸念される「二〇〇九年問

題」に対応するため、民主

党は社民党、国民新党と協

同し、今国会に「求職者等

に対する能力開発の支援及

び解雇等による離職者の医

療保険に係る経済負担の軽

減のための緊急措置に関す

る法律案」(求職者支援法

案)を提出しました(【図】)。

求職者支援法案は再就

職や起業に備えて職能開発

訓練を受けている人に手当

てを支給することと、解雇

などによる離職者も任意で

被用者保険(社会保険)を

二年間(国民健康保険は一

年間)継続できることが柱

支給額は月最高一〇万

円(扶養家族がいる者は十

二万円程度)、期間は二年、

ハローワークで求職登録し

「個別就業支援計画」に基づ

き職業指導や職能開発訓

練を受けている①雇用保険

の受給終了者②自己破産、

民事再生手続き開始、取引

先の破産などの理由で廃業

した小規模事業者③右の①

②に準ずる者が対象です。

一方、雇用問題の背景に

は、学校教育における進路

指導体制の充実が大きな

課題となっています。このた

め、民主党は過去三回「学

校教育法の一部を改正す

る法律案」(ガイダンスカウ

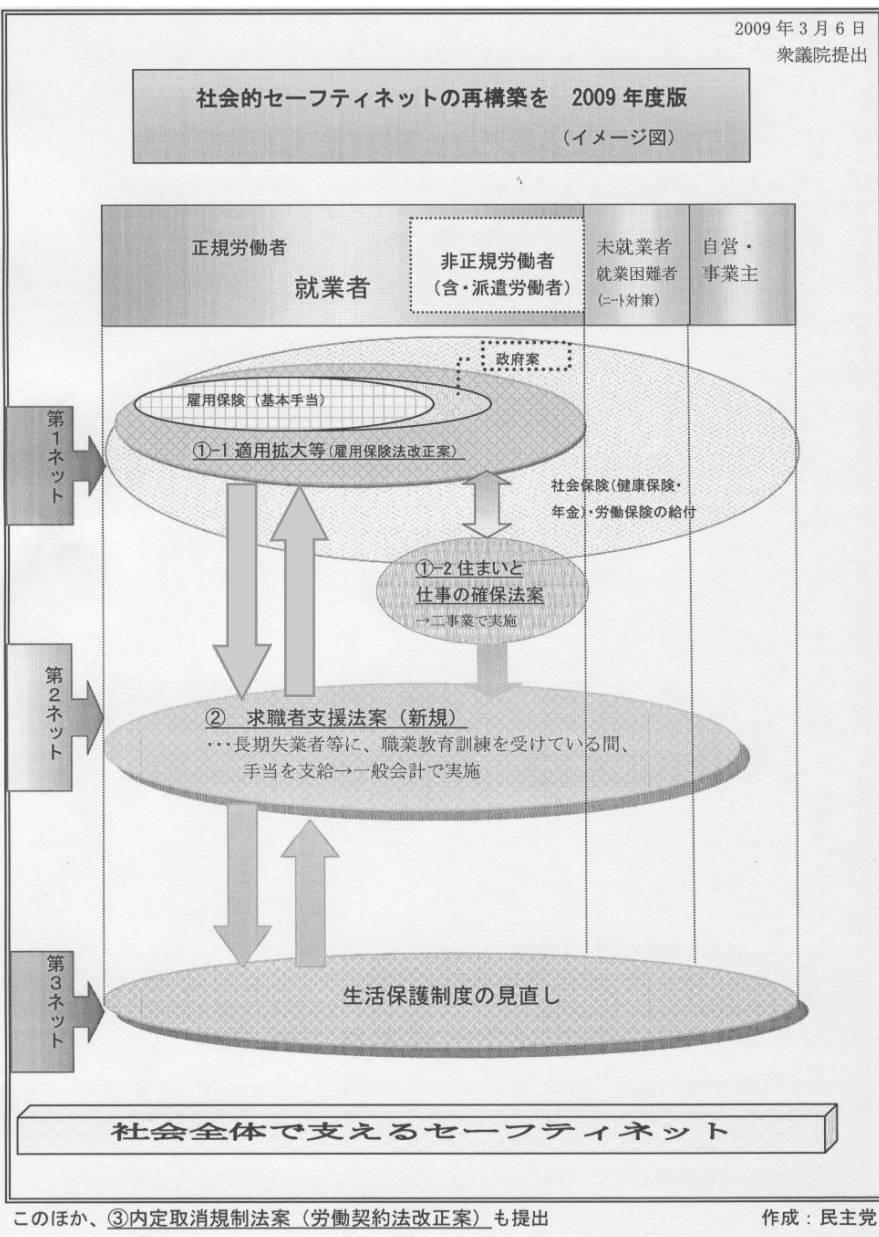
ンセラー法案)を提出して

います。

ガイダンスカウンセラー

法案は武正公一議員による

議員立法で、小・中・高校に



職業選択などの進路指導を行う専門相談員を配置し、現場の教師と連携して児童・生徒の心もケアするのが目的です。

専門知識を備える相談員を教育現場に投入することで、子どもたちが適性や健康面、学業・進路でつまづくことを未然に防げるのです。

同法案をめぐっては、NP法人日本カウンセラー協会などからも早期立法化を求められているため、今後も文部科学省との連携のもと、職業教育・職業訓練の充実を図ります。

②【見沼一〇〇年ビジョン】 農業再生と環境保全

「田んぼの駅」で地域振興
約一、二六〇ヘクタールに及ぶ大規模緑地空間である「見沼

田んぼ」を有効活用するため、昨年八月に「見沼一〇〇年ビジョン有識者会議」を立ち上げました。①農業振興②環境③地域振興の観点から八回にわたり議論を重ね、農地の集約化を促す「農地整備推進機構」(仮称)の設置や、農産品直売所と情報・交流拠点機能を

田園都市創出へ17の提案

見沼田んぼの未来語る

さいたまフォーラム



「見沼たんぼ」の将来をテーマに開かれた市民フォーラム=さいたま市浦和区の埼玉会館

さいたま市と川口市にまたがる見沼たんぼ(約千三百五十ヘクタール)の将来を展望する市民フォーラムが五日、さいたま市の埼玉会館で開かれ、現状と課題を踏まえた「見沼一〇〇年ビジョン」へ十七の提案がまとまった。地権者や生産者、市民団体などでつくる「見沼一〇〇年ビジョン有識者会議」が主催。約八十人の市民が参加した。

見沼たんぼは、首都圏の貴重な緑地空間で、耕作放棄地が拡大し、農産物の生産も減少。また、水質汚染や土壌汚染などの環境問題も深刻化している。国や自治体の関係機関と連携し、農地の集約化や、農産物の加工・販売の促進など、農地の再生を図りたい。また、見沼たんぼの魅力を最大限に引き出し、地域活性化を図りたい。また、見沼たんぼの魅力を最大限に引き出し、地域活性化を図りたい。

同会議は、地元農業者と意見交換しながら環境保全と地域経済の活性化を両立させる新たな施策を模索。昨年八月末から続く八回の協議を経て今回の提案書にまとめた。

提案書は「農業振興」「環境保全」「地域振興」の三つの柱にわたる。中、長期計画に振り分け、具体的な十七提案を盛り込んだ。大規模な農産物直売所や、見沼通船などの文化遺産を活用した観光事業の確立、見沼たんぼを一望できる展望台の整備といった提案も含まれた。

一方で、農業の持続強化に向けた農地集約推進機構の設置、環境に配慮した食糧教育の推進、芝川再生プロジェクトといったものもあり、横断的に見沼の将来を展望している。

同会議は、県や市に提案書を提出。議長を務めた修久・聖学院大政治経済学部長は「見沼たんぼはさいたま市の宝。八、首都圏の中で最大の財産。それを守っていく農家の方々を支える仕組みが必要」と、事態に即した行政支援を訴えた。


【写真】フォーラムの様子を伝える埼玉新聞の記事(平成21年3月9日付)


持つ「田んぼの駅(道の駅)」(同)の開設など十七項目の提案を盛り込んだ「見沼一〇〇年ビジョン」をまとめました。


さらに三月五日に埼玉会館で「見沼一〇〇年ビジョンフォーラム」(後援J A埼玉県中央会、埼玉大学)を開催しました(写真)。農業団体や市民団体の関係者多数が参加し、パネルディスカッションでは農業収入の安定化と地域活性化の観点から、田んぼの駅設置を求める意見が相次ぎました。

この十七の提案が地元自治体や関係省庁を後押しし、見沼田んぼが「癒し」と「農業」をテーマとする新しい田園都市空間に生まれ変わるきっかけになるように取り組みます。

埼玉県第1区 (岩槻区・浦和区・緑区・見沼区) 選出地方議員の紹介

 浅野目 義英(県議・浦和区)
昭和33年生まれ
民主党・無所属の会、福祉保健医療委員会委員、民主党埼玉県連副幹事長


 神崎 功(市議・緑区)
昭和30年生まれ
民主党・無所属の会さいたま市議団団長
保健福祉委員会委員、民主党埼玉県連副代表


 高野 秀樹(市議・岩槻区)
昭和35年生まれ
民主党・無所属の会さいたま市議団
文教委員会委員、議会運営委員会委員

衆議院議員たけまさ公一プロフィール

たけまさ公一ホームページ <http://www.takemasa.org>
▼県立浦和高校、慶応義塾大学法学部政治学科卒業
▼松下政経塾(第5期生) ▼埼玉県議会議員2期
▼衆議院議員3期(外務委員長、テロ・イラク特別委)
▼民主党次の内閣外務副(大臣)担当
▼民主党決算・行政監視調査会長 ▼党埼玉県連 幹事長



 原田 健太(市議・浦和区)
昭和42年生まれ
民主党・無所属の会さいたま市議団、文教委員会委員長
予算委員会委員、民主党埼玉県連副幹事長

 三神 尊志(市議・見沼区)
昭和55年生まれ
民主党・無所属の会さいたま市議団
総合政策委員会委員、予算委員会委員